

令和 年 月 日

農業振興地域整備計画の緊急変更（除外）に係る申出書

（あて先）松阪市長

所有者 住 所 松阪市殿町1340番地1
氏 名 松阪 市太郎

使用者 住 所 松阪市嬉野町1434番地
氏 名 嬉野 町夫
(電 話) (0598)-53-4116

事務所名
代理人 住 所
担当者名
(電 話)

農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）第13条の規定による農業振興地域整備計画の緊急的な変更（除外）について関係書類を添えて申出します。

記

1. 申出地

土地の所在	地目	地積 m ²	申出面積 m ²	農振法の用途区分
松阪市〇〇町字×× △△△番	田	980	500	農用地

※土地の所在については、字名を忘れず記入してください。

2. 変更の目的（使用される用途について等）

分家住宅

3. 理由（裏面に記載してください）

裏面のとおり

4. 添付書類

- (1) 位置図（1／2, 500：都市計画図等）
- (2) 土地利用計画図（建物配置計画図、排水計画図等）
- (3) 他の土地（開発可能な場所）を検討した一覧

※ 事業計画書（事業実施のための理由である場合は添付。）

※ 代理人の記載がある場合は、委任状等も添付のこと。

申出に關する理由書

農用地区域からの除外申出内容の具体的な理由を以下に示します。

1. 農用地除外の必要性、緊急性

(なぜ、申出地を除外、転用する必要があるのか、造成や建築を急ぐ具体的な理由を記載)

私は、松阪市内のアパートで、妻、子2人の4人で生活している。

子の成長に伴い、アパートでは手狭であるなか、転居を考えているが、親の介護のこともあり、実家に近い〇〇町内付近で生活したいと考え、今回、申し出た。

なお、申出地が農用地から除外されれば、速やかに農地転用申請を行い、建築に着手したいと考えている。

2. 申出地以外に代替することが出来ない理由

(他の土地を含めて検討した結果、申出地を除外することに至った経過を簡潔に記載)

〇〇町内で建築するにおいて、500m²程度の適当な土地を探した。自己所有地に適当な土地はなく、里中において、建築可能な雑種地も交渉したが断られ、白地農地でも野菜等の作付けがされていることなどから、建築するに理解を示してもらえた。

よって、集落に隣接する△△△番を選定した。

3. 周辺農地への影響の可能性

(申出地を除外、転用した場合、用排水路や周辺農地への影響の有無、ある場合は対応を記載)

※自治会及び土地改良区（又は水利組合）に説明した日、内容も記載

令和〇年×月△日　自治会長及び水利組合長へ建築図面を示し、了解を得た。

4. 隣接する農地の所有者及び耕作者への除外、転用にかかる内容の説明、危被害防止対策

(該当する場合、説明した日、内容も記載)

令和〇年×月○日　隣接農地所有者（△△○番）所有者の▲●氏に説明、了承済。

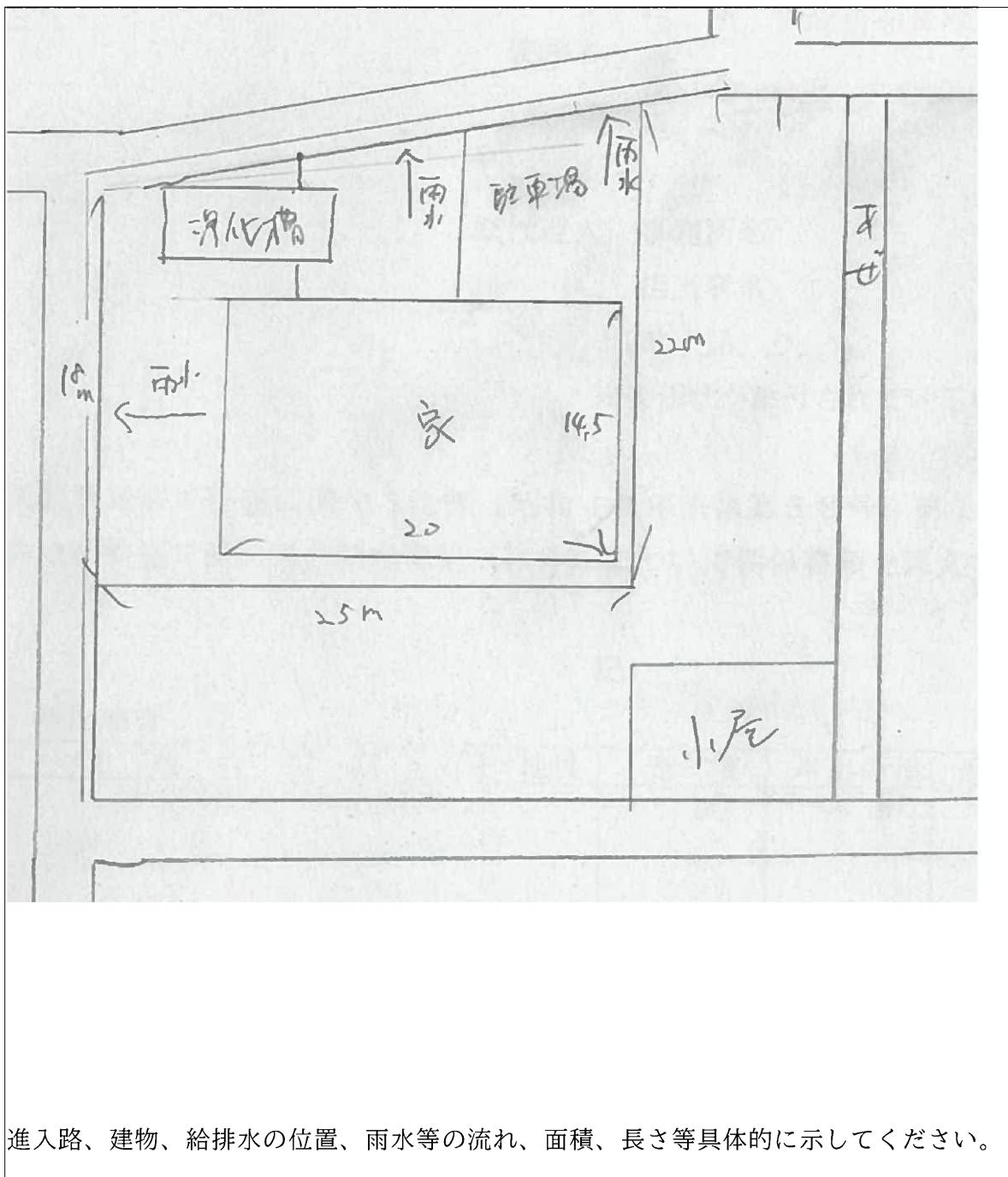
なお、建築に当たっては、隣接農地に危被害が及ばないよう、当方で責任を持って対応する。

※下表は農水振興課で記載（農水振興課チェック欄）

ほ場整備実施	獣害柵受益	各種交付金対象	農地法	開発

(2) 土地利用計画図

建物等配置計画図を以下に示します。



申出目的に係る事業 または施設の概要	建物等の名称	建物の構造	建築面積	備考
	住宅（平屋）	木造	290m ²	

※土地利用計画図について、既存資料があれば「別添」と記載し、代替資料でも可。

(3) 他の土地（開発可能な場所）を検討した一覧

(農用地区域以外の区域内の土地をもって代えることが困難な理由等)

土地の所在	地目	面積	理由	備考
松阪市○○町字××△△×番	畠	605	農地として耕作中のため	自己所有地
松阪市○○町字××○△番	畠	458	農地として利用するため譲れない	
松阪市○○町字△△○×番	雑種地	495	倉庫を建築する予定で売れない	
松阪市○○町字△△×△番	宅地	488	子が家を建てる予定のため売れない	
		m ²		

※ 筆数が多い場合は別紙に記入してください。

申出地を選定するまでに検討された候補地はあったが、その土地を選定することが出来なかつた場合、その筆情報及び理由を記載してください。

物理的又は法的に建築等不可の土地や農用地区域内のみで、申出地以外、代替することが出来ない土地しかない場合は、「該当なし」と記載し、添付してください。